

新年号



介護あんしん 相談員だより

第55号 令和7年1月発行
発行：鳥栖地区広域市町村圏組合
(介護保険課 地域支援係)
連絡先：0942-81-3111

明けましておめでとうございます。
昨年は、介護あんしん相談員の受け入れに
ご理解いただきまして、ありがとうございました。
本年もどうぞよろしく願いいたします。

介護あんしん相談員は橋渡しをします！

施設に入居していると、ちょっとした不満や不安があっても、
直接スタッフに言うことを遠慮してしまうことがあります。
介護あんしん相談員は、ご本人やそのご家族が施設職員に直接
は言いにくいことをお聞きして、客観的な目で見て気づいた点
を施設側に伝えて問題の解決をはかります。
現在18名の相談員が活動しています。



※現在は、新型コロナウイルス感染症予防のため、受入可能な施設のみの訪問をさせていただいております。

利用者様や介護あんしん相談員の声からいくつかご紹介します
(令和6年10月・11月)



～介護あんしん相談員の声より～



相談員：「小学生との交流会は、とても楽しかった。」と皆様喜ばれていました。
施設：地域交流で以前から企画しており、今回初めての実施でしたが、楽しんでもらえたようで良かったです。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



利用者様はコロナ禍で数年外部との交流が無い状況で過ごしてこられ、今回このように小学生との交流ができ、大変喜ばれたことでしょう。

施設では地域交流の思いが強く、管理者2名が小学校で児童対象の認知症サポーター養成講座で講話をされました。数年間小学校との関係づくりをされ、今回初めての児童の訪問に繋がったそうです。

このように地域との繋がりを持ちたいと願われ、活動をされている管理者さんだからこそ地区の区長さんも協力的で、施設の避難訓練にも参加して下さったそうです。

今後も地域との関わりを増やしていきたいと話されていました。



～利用者様の声より～



利用者： クリスマス会で串焼きを作るので、私が串に刺します。
施設： 家事等いろいろ手伝ってもらい、本当に助かっています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



相談員が訪問したときに、スタッフさん達が一生懸命クリスマス会のメニューの相談をされていました。利用者様は「わたしは、まだまだ出来るから、串焼きの串を刺すお手伝いをします。」と話されました。

施設の中には、利用者様が出来ることがいろいろあると思います。それをする事で、利用者様の役割ができ、それに対して施設のスタッフさんから「ありがとう。助かりました。」「あなたがいてくれてよかった。」と言ってもらうことは、認知症の症状のある方だけではなく、皆が嬉しいことですよね。

「施設では、助かっていることやお礼の言葉を、まめに伝えるようにしています。自分の役割があって、支えあって生活をするのが、グループホームの良いところなので。」と相談員に話されたそうです。

利用者： ここのご飯は美味しい。時々カップ麺を食べたくなるけど、「それもいいよ。」と言ってくれるので嬉しい。

施設： 月に1回程度ですが、美味しそうに食べられています。

【鳥栖地区広域市町村圏組合】



自宅では時々カップ麺を食べられていたのでしょうか。施設ではカップ麺の時に、小さなおにぎりも一緒に出していただいたそうです。

また敬老会の日のおこわが重箱に入っていて、利用者様はとても喜ばれたそうです。

相談員からは、「栄養面ばかりではなく、時には本人のわがままを聞いていただき、家族のような対応にこちらまで嬉しくなりました。また、食事を重箱で提供するのは大変でしょうけど、行事ごとを大切に利用者様への思いやりが感じられました。今後も続けていきたいです。」と報告書には記載されていました。

他の施設では、テレビの料理番組を見ながら「温かいのが食べたいねー。鍋とか良いけど。」と話されていたそうです。自宅では寒くなると鍋料理は定番ですね。

利用者様は、施設に入るにあたり人生をそのまま持ってこられます。一人として同じ日常を過ごされていません。利用者様の全てを知ることは難しいですが、ひとつでも笑顔につながれば良いですね。



鳥栖広域 相談員だより

検索

鳥栖地区広域市町村圏組合のホームページで、今までの「介護あんしん相談員だより」を閲覧することができます。よろしければご利用ください。